

あきる野市公立小学校教育研究会理科研究部の取組 「問題解決の能力を育成する学習活動」～理科における見方・考え方～

I あきる野市公立小学校教育研究会理科研究部について

あきる野市理科部では、これまで「問題解決の能力を育成する学習活動」～理科における見方・考え方～という研究主題で研究を進めてきた。

問題解決学習の中で「予想した根拠」や「結果が出た理由」「結果から分かったこと」など児童の考える力を育むためには、どのような教材・教具が有効であるのか、またそれらの提示方法の工夫に焦点を当ててきた。さらに新学習指導要領完全実施に向け、「理科における見方・考え方」について焦点を当てて研究を進めてきた。

ところが、新型コロナウイルスによる研究会の減少、理科部員の大幅な入れ替えによって、研究内容を継続することが難しくなった。また、理科部員の減少という問題もあった。

そこで、次のような方針を考えた。

- ① これまで研究で培った問題解決学習を継承する。
- ② 理科部以外のだれもが授業展開できるような分かりやすい授業をする。
- ③ 児童も教師も理科が好きになるような授業を提案する。

以上のような考え方から、「理科好きになる問題解決学習」とテーマを設定した。

II 研究の過程（令和5年度） ※コロナ感染拡大により研究授業を公開できなかった。

令和5年 6月 7日(水) 第3学年「風やゴムのはたらき」

あきる野市立南秋留小学校 植松 修二 主任教諭

令和5年 10月 4日(水) 第4学年「とじこめた空気と水」

あきる野市立五日市小学校 藤木 裕巳 主任教諭